

# 2026 年度 副専攻演習科目予備登録票作成要領

## 1. 学科型副専攻を登録中の方へ

- ・ 美学芸術学コース、文化史学コースは、予備登録は不要。
- ・ 予備登録票はコース毎に 1 通ずつ必要。1 通の予備登録票を提出することで、春・秋を通じて演習の予備登録を行ったことになる。また、学科型副専攻の場合、クラスは春・秋ともに同じクラスとなり、同一年度中に春・秋で別のクラスに参加することはできない。

【例】英文学コースのみを副専攻登録している人

→予備登録票を 1 通提出すれば、春学期の「基礎演習Ⅰ」および  
秋学期の「基礎演習Ⅱ」とともに予備登録を行ったことになる。

## 2. 横断型副専攻を登録中の方へ

- ・ アジア文化コース（東洋文化史演習（1）・（2））は、予備登録は不要。
- ・ 複数の演習科目を履修希望する場合は、演習科目数分の予備登録票が必要となる。但し、この場合、単一学科内から第 1～5 希望の科目・クラスを選択して申請すること。なお、人文学総合コースは 2 科目、メディア文化コースについては 1 科目を年度毎の申請の上限とする。人文学総合コースを登録中の方で 2 科目を申請する場合は、予備登録票の下部に「1 科目目」、「2 科目目」と記載し、提出すること。
- ・ 複数のコースを履修していても一つの演習科目を履修するだけでよい場合もあるので、この場合は 1 通の予備登録の提出で構わない。

【例】人文学総合コースを履修中の者が、春学期と秋学期で 1 科目ずつ履修を希望

（例えば春学期に哲学科の「演習Ⅰ（1）」秋学期に哲学科の「演習Ⅰ（2）」を履修希望）

→「演習Ⅰ（1）」「演習Ⅰ（2）」の 2 通の予備登録票が必要。

【例】人文学総合コースを履修中の者が、同一学期中に 2 科目を同時に履修希望

（例えば春学期に「基礎演習Ⅰ」と「演習Ⅰ（1）」を同時に履修希望）

→「基礎演習Ⅰ」「演習Ⅰ（1）」の 2 通の予備登録票が必要。

- ・ 副専攻演習科目は、全て 1 セメスターで完結する科目である。同じ教員の演習科目であっても、春学期科目と秋学期科目は各々独立した科目として扱われる。春学期科目の予備登録を行っただけでは秋学期科目は予備登録されない（特に必修単位数が 4 単位の人文学総合コースの者は十分気をつけること）。

### 3. 学科型副専攻・横断型副専攻 共通

- ・ 予備登録ができるのは、副専攻登録をしているコースの必修科目の演習のみ。副専攻登録を行っていない者、副専攻登録を行っていないコースの必修科目の演習は予備登録をすることはできない。

【例】副専攻登録をしていない者

→副専攻演習の予備登録はできない。

【例】英文学コースのみを副専攻登録している者

→「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」のみ予備登録することができる。

- ・ 学科型・横断型の両方の副専攻を履修している者で、両副専攻コースで重複する演習科目を履修希望する場合は、学科型副専攻の予備登録票のみを提出すること。

以上